

# Azure DevOps Server 2019を使用したバージョン管理 Magic xpa 4.6 / 3.x 補足資料

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社 2021 年 1 月 15 日

本ドキュメントは、Magic xpa 4.6 / 3.x で Azure DevOps Server 2019(以下 DevOps)を使用したバージョ 管理の補足資料です。 TFS2017 以下との違い、及び注意事項等について記載されたものです

各章の番号は、「<u>Microsoft Team Foundation Server を使用したバージョン管理</u>」の各章の番号に合 わせたものです。

## 目 次

Azure DevOps Server 2019を使用したバージョン管理 Magic xpa 4.6 / 3.x 補足資料	1
3. インストール	<b>2</b>
参考サイト	<b>2</b>
3.1 前提ソフトウェアのインストール	2
3.2 DevOps のインストール	<b>2</b>
3.4 DevOps チームプロジェクトの作成	1
6.2.1 プログラムリポジトリ全体のチェックアウト1	.6
8. ワークスペースについて	7
9. トラブルシューティング	.8
9.1 クライアントから接続できない。1	.8
9.2 「サーバから開く」処理で、クライアントにプロジェクトを作成する際、エラーが発生する。1	.8
9.3 プログラムリポジトリに「プログラムソースが見つかりません.」の行がある。	.8
9.4 クライアントのプロジェクトフォルダを移動すると、DevOps サーバと正しくバージョン管理できなくなる。1	.8
9.5 「プロジェクトの除外」を行ったプロジェクトに対して、Team Explorer からプロジェクトフォルダを削除する。	٤.
クライアント上の物理的なプロジェクトも削除される。2	20

改訂履歴

2018 年 8 月 24 日 初版 Team Foundation Server 2018 対応 2021 年 1 月 15 日 第 2 版 Azure DevOps Server 2019 対応



3. インストール

参考サイト

リリースノート(英語サイト)

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/server/release-notes/azuredevops2019u1?view=azure-devops

システム要件(英語サイト) https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/server/requirements?view=azure-devops-2020

バージョン管理システムの利用について(英語サイト) https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/devops/repos/tfvc/what-is-tfvc?view=azure-devops

3.1 前提ソフトウェアのインストール IIS も.NET3.5 も予めインストールしておく必要はありません。 IIS は DevOps のサーバ構成の過程でインストールされます。

3.2 DevOps のインストール

インストーラを起動します。





インストールボタンをクリックする と、インストールが開始されま す。



「ウィザードの開始」をクリックします。

※マシンによっては「今すぐ再起 動」の画面が表示されます。 この場合、マシンを再起動してロ グオンすると、「Azure DevOps Servrer 構成センター」の初期画 面が表示されます。





「次へ」をクリックします。

Azure DevOps Server の構成		×
🦬 サーバー構成ウィ	ザード	
ようこそ     既存の配置     データハース ▲      確認     适合性チェック      構成      モア	ようこそ このウイザードでは、新しい配置を最初から作成するか、既存の配置をアップグレードするか、または新しいアプリケーション層を設定するかを見 わず、Azure DevOps Server の配置を構成します。ここではシナリオの選択、入力、入力の検証、および配置の構成のプロセスをすべて構 難しています。	
	Azure DevOps Server の品質向上にご協力ください Visual Studio エクスペリエンス向上プログラム (VSEP) の一環として、Azure DevOps Server および Azure DevOps Server によってイン トールされるひ他のコンパーメントのインストールよび爆成に取する情報を常に収集します。こちに、オプトインに同意して情報を未有すると VSEIP では Visual Studio の使用に関連する/(フォーマンス、設定、信頼性、接続、使用状況データを収集します。このデータを使用して個 人名布定することはありません。 ③ Visual Studio エクスペリエンス向上プログラムに参加する(Y) ④ 参加しない(N) ④ 詳細については、プライパシーに関する声明を参照してください。	2
Azure DevOps Ser	ver 2019.0.1 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセノ	V

新規のインストールでは上のボ タンを選択、以前の DevOps,また は TFS のデータベースがある場 合は下のボタンを選択して、「次 へ」をクリックします。 ここでは、上の「これは新しい Azure DevOps Server 配置で す。」で先に進めます。

Azure DevOps Server の構成	
쀎 サーバー構成ウィ!	f - r
ようこそ	配置タイプ ・ これは新しい Azure DevOps Server 配置です(W) このオブションを選択した場合、新しいデータベースを持つ新しい Azure DevOps Server 配置が作成されます。 ・ Azure DevOps Server 配置に使用する既存のデータベースがあります(2) このオブションを選択すると、ウィザードの次のパージで選択する既存のデータベースに対して Azure DevOps Server 配置を構成します。
Azure DevOps Serv	ver 2019.0.1 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセル



標準のセットアップを行う場合は 上の選択肢、カスタマイズが必 要な設定の場合は下の選択肢 を選択して「次へ」をクリックしま す。

ここでは、上の「新しい配置-基本」で進めます。

Azure DevOps Server の構成		×
🦣 サーバー構成ウィ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	
ようこそ 新しい配置 茎本 言語 SOL Server インスタンス データペース アプリケーション層 検索 ▲ 確認 適合性チェック 構成 完了	配置シナリオの選択 次のオジョンから、新しい配置シナリオを選択します。 新しい配置 - 基本 ほとんどの入力に対して数定のオプションを使用して、新しい Azure DevOps Server 配置を作成します。このオプションを使用する と、すぐ物意味取にできます。サービス アカウント・ボートなどの入力オプションを提供に制御したい場合や、SQL Server Reporting Services の統合を構成する必要がある場合は、代わりに詳細シナリオを使用しなければなりません。 新しい配置 - 上級 すべての入力を完全に制御して、新しい Azure DevOps Server 配置を作成します。このオプションを使用すると、各入力に始合の 値を指定し、SQL Server Reporting Services の統合を構成することができます。 新しい配置 - Azure Azure SQL デークペースと統合された新しい Azure DevOps Server 展開を作成します。このオプションは、マネージドサービス ID が有 効になっている Azure 仮想マシンで利用できます。	(increased in the second s
Azure DevOps Se	erver 2019.0.1 前小(P) 次小(N) 確認(M) キャンセ	IL

言語は「日本語」で「次へ」をクリックします。

Azure DevOps Server 0/備成	
┣╋ サーバー構成ウィリ	f->
よろこそ 新しい配置 基本 電話 SQL Server イソスタソス データバース アブリケーション層 検索 ▲ 確認 遠合性チェック 構成 売了	言語を選択します 多くの文字列は、サポートされているすべての言語でインストールされ、偏々のユーザーが選択した優先する言語で表示することができます。作 来項目の憧憬といったプロセス要素の文字列など、単一の言語でのみインストールされる文字列もあります。 Azure DevOps Server 配置の言語は、初期設定後に変更することはできません。今後別の言語を選択する必要がある場合は、新しい配 室を構成する必要があります。 日本語
Azure DevOps Serv	ver 2019.0.1 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセル



SQL Server がインストールされ ていなければ上のボタン、既に インストール済みであれば下の ボタンを選択します。

ここでは、下の「既存のインスタ ンスを使用」を選択して、「次へ」 をクリックします。

Azure DevOps Server の構成	
🚮 サーバー構成ウィサ	ゲード
ようこそ 新しい配置 基本 言語 SQL Server インスタンス データペース アブリケーション周 検索 ▲ 確認 適合性チェック 構成 売了	Azure DevOps データベース用の SQL Server インスタンスを選択してください SQL Server Express をインストールする(E) のオブションを選択すると、Microsoft SQL Server Express の新しいインスタンスがインストールされ、構成データベースおよびチームプロ ジェクト コレクション データベースが格納されます。 ① 既存の SQL Server インスタンスを使用する(E) 構成データベースおよびチームプロジェクト データベースに既存の SQL Server を使用する場合は、このオブションを選択します (SQL Server Express (オンストールされません)。 ① SQL Server の既存のインスタンスが ンロックロンスタンスが ンロックロンスタンスが のの既存のインスタンスが のの既存のインスタンスが のの既存のインスタンスが のの既存のインスタンスが のの既存のインスタンスが のの既存のインスタンスが のの既存のインスタンスが のの既存のインスタンスが のの既存のインスタンスが ののしたの のの既存のインスタンスが のの のの のの のの のの のの のの のの のの の
Azure DevOps Serv	ver 2019.0.1 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセル

既存 SQL Server の場合、デー タベースのインスタンスを指定し ます。

Azure DevOps Server の構成					
🚮 サーバー構成ウィリ	f - h				
ようこそ 新しい配置 基本 言語 SQL Server インスタンス データペース アブリテーション層 検索 ▲ 確認 通合性チェック 構成 売了	Azure DevOps Server データベースの指定 データベースに使用する SQL Server インスタンスを指定します。 SQL Server インスタンス(S): Manufacture SQE Spress				<del>72</del> 1
Azure DevOps Serv	er 2019.0.1	前へ( <u>P</u> )	次へ( <u>N</u> )	確認(⊻)	キャンセル



DevOps のチームプロジェクトの 作成やユーザの追加等、チーム プロジェクト全般の管理を行うIIS の設定です。 新規のIIS の場合、「次へ」をクリ ックします。

このマシン上の他のアプリで IIS を利用している場合、「サイト設 定の編集」をクリックして、仮想 ディレクトリの変更や新規のサイ トを設定します。

					OUTLERIOR	M THE FOTORE
Azure DevOps Server の構成						
쀎 サーバー構成ウィリ	ザード					
ようこそ 新しい配置 基本 言語 SQL Server インスタンス データベース アプリケーション層 検索 ▲ 確認 通合性チェック 構成 売了	アプリケーション層 V Web サイトの設定 グループの設定(S): サイトバインディング: パブリック URL: サイト設定の編集	Web サービスの設定を指定してくた カスタム http://:80 http://www.source1	້ະຂັບ			v
Azure DevOps Serv	er 2019.0.1		前へ( <u>P</u> )	次へ( <u>N</u> )	確認(⊻)	キャンセル

「サイト設定の編集」を行う場 合、「仮想ディレクトリ」を設定す るか、「編集」ボタンを押下して、 ポートを変更します。

Web サイトの設定			×
仮想ディレクトリ( <u>D</u> ):			
プロトコル ホスト名	ポート	IP アドレス	追加( <u>A</u> )
http	80	*	編集( <u>E</u> )
			削除( <u>R</u> )
パブリック URL( <u>P</u> )			
パブリック URL は、ユーザーがシステムに接続するの のテキストに使用される URL です。	)に指定するプライマリ URI	- であり、電子メール警告	
http://www.construction			
		ОК	キャンセル



設定画面を閉じて、「次へ」をクリ ックします。

右の例では、仮想ディレクトリを tfs に設定。

が サーバー構成ワ ようこそ 新しい配置	イザード アプリケーション層 V Web サイトの設定 —	Web サービスの設定を指定してく	ださい			
言語 SQL Server インスタンス データベース アプリケーション層	グループの設定(S): サイト バインディング: パブリック URL: サイト設定の環境	カスタム http://*:80/tfs http://				v
検索 ▲ 確認 適合性チェック 掲載 売了						
	anuar 2010 0 1		若ん(の)	37A (N)	建物(0)	±ar^ı,tr.II.

追加オプションの検索サービス の設定。必要に応じて選択し、 「次へ」をクリックします。

※Magic xpa の開発では、必須の機能ではありません。

Azure DevOps Server の構成		×
퉒 サーバー構成ウィサ	ё- К	
ようこそ 新しい配置 基本 言語 SQL Server インスタンス データベース アブリケーション層 検索 <u>A</u> 確認 送合性チェック 掲載 売了	検索構成の設定を指定します これらの設定を指定します これらの設定を使用して、オブションの検索機能をインストールして構成します。検索サービスを構成すると、すべてのコレクションに対する作 来項目の接着と Wiki search が有効になります。必要な <u>サービノトライクのコレパーネント</u> もインストールされます。 <u>ハービウェアの要得とインストール</u> レール <u>メモ</u> をお読みください。 ② 検索のインストールと構成 ④ 検索サービスのインストール(D): 検索インデックスの場所: CMAzureDevOpsDataWSearchWinderStore 最高のパフォーマンスを得るには、ソリッドステートドライブ (SSD) ストレージでパックアップされたフォルダーを選択します。 ③ 成年の検索サービスの使用(D): ③ リモートマシンに検索サービスをインストールするには、検索サービスパッケージのコンテンツをリモートマシンにコピーム readmc フォイルの指示に定います。 検索サービスののURL(B): ③ 既存のチームプロジェクト コレクションと新しいチームプロジェクト コレクションに Code Search 拡張機能を自動的にインストール	
	検索サービスで基本認証を有効にするには、ユーザーとパスワードを指定します	v
Azure DevOps Serv	er 2019.0.1 前へ(P) 次へ(N) 確認(M) キャンセ	IL



ウィザードで設定した項目を確 認の上、「次へ」をクリックしま す。

Azure DevOps Server の構成			
쀎 サーバー構成ウ	ィザード		
ようこそ 新しい配置 基本	次に進む前に構成の設定を 適合性チェックを開始する前に、選	確認してください 択した各構成設定を確認してください。	
言語 SQL Server インスタンス データベース	<b>フィードバック</b> フィードバックの送信	ນນຸລັ	
アプリケーション層 検索	アプリケーション層 構成シナリオ サービス アカウント	NewServerBasic NT Authority¥NetworkService	
確認	認証方法	Negotiate	
<b>通合性チェック</b> 掲成 完了	データベース言語 仮想ディレクトリ サイト パインディング パブリック URL	日本語 tfs http:"80: http://www.www./tfs	
	ンティル キャッシュ ノオルター SSH サービスを有効にする SSH ポート	C=AZUreDevOpsData+Application Her+_THECache  L\ 22	
	構成データベース		
	SQL Express のインストール SQL Express のアップグレード SQL インスタンス	いいえ いいえ Children SalExpress	
Azure DevOps S	Server 2019.0.1	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	検証(⊻) キャンセル

インストール可能かどうか、サー バ環境の適合性がチェックされ た後、成功したことを確認の上、 「構成」をクリックします。 セットアップが実行されます。

Azure DevOps Server 0)構成 X					
눩 サーバー構成ウィリ	f - h				
ようこそ 既存の配置 データベース ATのみ・基本	構成の進行状況 パフォーマンスカウンターを構成しています				
アカウント	<ul> <li>構成の準備</li> <li>構成の準備</li> </ul>			処理中 土明松	
アブリケーション層	構成 Jークバース Web サイトの作成			未開始	
確認	サービスの構成			未開始	
適合性チェック 構成	Web サイトの開始			未開始	
完了					
Azure DevOps Serv	ver 2019.0.1	前へ( <u>P</u> )	次へ( <u>N</u> )	完了	閉じる



正常にセットアップされたら、「次 へ」をクリックします。 Azure DevOps Server の構成 🚮 サーバー構成ウィザード ようこそ 構成の進行状況 既存の配置 データベース AT のみ - 基本 ☑ 構成の準備 完了 アカウント 構成データベース 完了 アプリケーション層 ☑ Web サイトの作成 完了 サービスの構成
 確認 完了 適合性チェック ☑ Web サイトの開始 完了 構成 正常に完了 完了 構成は正常に完了しました。[次八]をクリックして、詳細情報を表示してください。 前へ(P) 次へ(N) Azure DevOps Server 2019.0.1 完了 閉じる DevOps Server の構成 🚹 サーバー構成ウィザード ようこそ 結果を確認してください 既存の配置 正常に完了 データベース Azure DevOps Server 構成が正常に完了しました。 AT のみ - 基本 アカウント アプリケーション層 ログは次の場所に保存されました: C#ProgramData¥Microsoft¥Azure DevOps¥Server Configuration¥Logs¥TFS Azure DevOps Server 第全パスのコピー の構成 0112 063756.log 確認 適合性チェック 接続の詳細(<u>C</u>): 構成 Azure DevOps Server: http://win2019nnhv01/tfs 完了 🔿 詳細な結果 (i) ファイアウォールの例外にポート 80 が追加されました ファイアウォールの例外が 'TeamFoundationSshService.exe' に追加されました 前へ(P) 次へ(N) 完了 閉じる Azure DevOps Server 2019.0.1

ログやコメントを確認の上、画面 を閉じます。



3.4 DevOps チームプロジェクトの作成

DevOps のチームプロジェクトは、Team Explorer 2013 から作成できませんので、Web ブラウザから、DevOps の 管理用 Web サイトにアクセスして行います。

Web ブラウザを起動して、先ほど 設定した IIS の URL にアクセスしま す。 (例.) http://(Server)/tfs (Server )は、DevOps をインストー ルしたサーバ名。

※クライアントマシンからアクセス できない場合、サーバのファイア ウォールをチェックするか、インス トールしたサーバから Sever 名を localhost に設定して実行します。

次のような画面が起動されます。

それぞれの項目を入力し、「プロジ ェクトの作成」を押下します。

プロジェクト名:必須 説明:任意

「詳細」をクリックして、次の設定。

バージョンコントロール:Team Foundation バージョン管理 作業項目プロセス:(任意) (開発環境に合わせて選択します が、通常はデフォルトの Agile で 可。)

<ul> <li>         ・</li></ul>	ultCollection ~ C 検索	- م	□ ↑ ★	* # *
Azure DevOps		1	Ô	A
コレクション				^
DefaultCollection				
	プロジェクトを作成して開始します			
	コレクション名			
	DefaultCollection			
	プロジェクト名*			
	1000 III III III III III III III III III			
	500-73			
関連するページ				
ドキュメント	~ 詳細			
アクセスレベル				
管理者の設定	+ プロジェクトの作成			~

	ollection ▼C 标志	_ ۹۰ <del>۱</del>
Ĵ プロジェクト - ホーム × 🚺		
Azure DevOps		i≣ (
コレクション		
DefaultCollection		
	プロジェクトを作成して開始します	
	コレクション名	
	DefaultCollection	
	プロジェクト名*	
	xpa46Projects	~
	説明	
	Magic xpa 4.6.1 アプリケーション	
	へ 詳細	
関連するページ	バージョンコントロール ⑦ 作業項目プロセス ⑦	
ドキュメント	Team Foundation バージョン管理 🗸 Agile	$\sim$
ヘルプの表示		
アクセス レベル	→ プロジェクトの作成	



作成後に、次のような画面が表示 されれば、正常に作成されていま す。

次に、DevOpsのサーバにアクセ ス可能な開発ユーザを登録するため、右上の「招待する」をクリックし ます。

				OUT ERIORM THE TOTORE
<u>(1)</u> 供到 (1)	특-概要 × 집 DefaultCollection / xpa46Projects / 极要 / 概要		検索	,
+	× xpa46Projects			👷 招待する 🗙
2 2 2 2	<b>このプロジェクトについて</b> Magic xpa 4.6.1 アプリケーション	0	<b>プロジェクトの統計</b> Repos	過去7日間 >
			メンバー 1 〇	

「…チームのメンバーシップの」管 理」ダイアログで、「+追加」をクリ ックします。

× xpa46	iProjects			☆ 招待する 🗙
-	xpa46Projects =	チーム のメンバーシップの管理	×	
このプロジェク	Aparlor rejecto y	4.000000000	クトの統計	過去7日間 ~
	+ 追加   ひ   検討	Ę	_	
他のユーサーの使。	表示名	ユーザー名またはスコープ		
に理解できるように	Administrator	\	への作成者による変更セ	vh
+ プロジェ!			_	
			1	
		Pa U	55	

「ユーザまたはグループ」でゆこう な Windows ユーザ、またはグルー プを入力します。





Enter キーで確定して「変更の保 存」をクリックします。	× xpa46Projects	☆ 搬付する ★
	xpa46Projects チームのメンバーシップの このブロープローガーおよびグループの追加 他のユー フロジェク に理解で エーザーまたはグループを追加するには、そのサインインアドレスまたはグルー します エーザーまたはグループ magicuser1 × ユーザーとグループの映奏	管理 -プのエイリアスを入力 により変更セット
	変更の保存	キャンセル 目じる
登録されると、ホーム画面でメン バー数がカウントアップされていま	× xpa46Projects	☆ 招待する 🛛 🚖
9 o	このプロジェクトについて 他のユーザーの使用開始を手助けする プロジェクトについてお明い、他のユーザーが簡単 に理想できたい。	プロジェクトの統計 過去7日間 ∨ Repos
	1 APAT 4 19 40 10 10 10	xy/(- 2

ブラウザを閉じて、DevOps サーバでの作業は終了です。

これで、DevOps のチームプロジェクトが作成されましたので、各クライアントマシンから Magic xpa のプロジェクト が作成できます。1 つの DevOps のチームプロジェクトの中に、複数の xpa のプロジェクトを作成できます。

次に、「4.クライアント側のインストール」を行ってから、チームプロジェクトの設定変更を行います。



4.2 クライアントから DevOps への接続

クライアントの Team Explorer		-	チーム エクスプローラー - 接続	₹. <del>.</del>	1
から[チームエクスプローラ]→	「▽ - ワークスペース(O): WIN10	•	G 🛛 🛱 🛱 🖸	作業項目の検索 (Ct 👂 -	
[チームプロジェクトの選択]を		-	接続   xpaProject01	•	
クリックします。	<u>'\\;;;;;;;</u>		チーム プロジェクトの選択	チーム プロジェクトの作成…	
新しいダイアログで、[サーバ]	Team Foundation Server への接続			? ×	
から、セットアップした DevOps サーバを追加して選択する	Team Foundation Server の選択(S):				-
と、作成したチームプロジェク	win2012r2 チーム プロジェクト コレクション(C):	チーム プロジェクト(T):	✓ #-	/(-(R)	
トが表示されます。	Contraction	✓ (すべて選択)(A) ✓ (すべて選択)(A) ✓ xps32Project01			
	1		接続 キ	ャンセル	

4.3 チームプロジェクトのチェックアウトの設定を変更

デフォルトの設定では、チェックアウト/チェックインを行うと次の問題が起こるため、チェックアウトの設定を変更します。

- ・ 複数のクライアントから同時に同じオブジェクトに対してチェックアウトできてしまうので、xpa から正常にチェックインできない。
- ・チェックアウト時に、最新のソースが反映されていないことがある。

ソース管理エクスプローラを表示して、「3.4.3 チームプロジェクトの設定変更」の手順で、[チェックアウトの設定] を変更します。

チームエクスプローラのチー ムプロジェクトのメニューか ら、[チーム→チームプロジェ クトの設定→ソース管理]を選 択します。





以上で、DevOps のチームプロジェクトの設定は完了です。



6.2.1 プログラムリポジトリ全体のチェックアウト

通常、プログラムの追加、削除、移動などを行う場合、個々のプログラムに対するチェックアウトの前に、プログ ラムリポジトリに対するチェックアウトは自動的に行われます。

例えば、F4キーで新規プログラムを作成時に次のようなダイアログが出ます。

◀ オブジェクトのチェックアウト: プログラム リポジトリ	×
אלאב:	
<u> </u>	)t⊮( <u>C</u> )

チェックインは自動で行われませんので、追加、削除、移動が完了した後には、チェックインを行う必要があります。(6.2.2 参照)



### 8. ワークスペースについて

ワークスペースは各クライアントで管理される DevOps のチームプロジェクト内のソースファイルのフォルダと、それに対応するクライントのローカルフォルダ、およびサーバかクライアントのどちらのワークスペースを有効にするかの情報等が保存されています。

ワークスペースは、Team Explorer から、[チームエクスプローラ]→[ソリューション]→ワークスペースの名前から 右クリックメニューの[ワークスペースの管理]から、確認することができます。

「Magic xpa Studio でのバージョン管理は、ソース管理の設定で行ったように、複数のチェックアウトを有効にしないため、サーバのワークスペースで実行します。

したがって、xpaから作成されたワークスペースの編集画面の[場所]には「サーバ」が設定されます。」

ークスペース	WIN10NN01の編集		? >
名前(N):	WIN10		
サーバー(S):	win2012r2nnhv02¥DefaultCollection		
所有者(O):	: n		
コンピュータ-	-(P): WIN10NN01		
場所(L):	サーバー		~
ファイルの時	間(F): 現在		~
アクセス許可(M): プライベート ワークスペース			~
באר(C):	プライベート ワークスペースはその所有者のみが使用できる	<b>td</b> .	
			\$\$
作業フォルら	∮−(W):		
状態	ソース管理フォルダー ▲	ローカル フォルダー	
アクティブ	\$/xpa32Project01/PetshopTFS	C:¥data¥projects32¥PetshopTFS	
	新しい作業フォルダーを入力するには、ここをクリックします		

Magic xpa のプロジェクト作成時に、ワークスペースの情報は自動的に更新されますので、通常は編集すること はありません。

例外的に、Team Explorerを介さずにプロジェクトの移動や削除をして、既に存在しないプロジェクトのデータが残っている場合は削除しても影響はありませんが、既存のプロジェクトのフォルダの情報を修正することは、ここでは行わないでください。

参考:

https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms181383.aspx https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb892960.aspx



### 9. トラブルシューティング

#### 9.1 クライアントから接続できない。

#### Team Explorer から接続できない場合、DevOps サーバのファイアウォールの設定を確認してください。

アプリに Windows ファイアウォール経由の通信を許可する 許可されたアプリおよびポートを追加、変更、または削除するには、[設定の変更]をクリックします。 アプリに通信を許可する危険性の詳細 一般 設定の変更(N) 許可されたアプリおよび機能(A): 名前 プライベート パブリック  $\sim$ Netlogon サービス □ Secure Socket トンネリング プロトコル □ SMBDirect でのファイルとプリンターの共有 ≡ SNMP Trap SQL Server 2012 UDP **v V** SQL Server2012 TCPport ✓ ~ Team Foundation Server: TeamFoundationSshService ✓ ~ Team Foundation Serve □ TPM 仮想スマートカード管理 uniPaaS19 MRB 5315 ☑ ✓ uniPaaS19 RemoteDebugger 5555  $\checkmark$ uniPaaS19 runtime ☑ **v** 詳細(L)... 削除(M)

9.2 「サーバから開く」処理で、クライアントにプロジェクトを作成する際、エラーが発生する。

デフォルトで設定されたローカルフォルダの指定が不正な場合に発生します。 以下のサイトを参考にして、プロジェクトの作成時にフォルダ名を変更してください。

https://esupp.magicsoftware.co.jp/QCJSys/qcj.req?arguments=-A2002826.300

9.3 プログラムリポジトリに「プログラムソースが見つかりません.」の行がある。

プログラムリポジトリ全体の同期を取ったときに、「プログラムの最新バージョンを取得」のチェックを行わなかったために、プログラム番号に対応するプログラムファイルが存在しない場合に発生します。

この場合、ツールバーの「選択したオブジェクトの最新バージョンを取得します」をクリックするか、複数のプログ ラム番号で、その記述がある場合には、プルダウンメニューから[バージョン管理]→[最新プロジェクトの取得]を 行います。

9.4 クライアントのプロジェクトフォルダを移動すると、DevOps サーバと正しくバージョン管理できなくなる。

DevOps の管理されたプロジェクトに対して、Windows のエクスプローラ等でフォルダの移動やリネームを行うと、 DevOps のプロジェクトと正しく同期がとれなくなります。

プロジェクトフォルダの移動を行う場合には、Team Explorer から行うことができます。

- 1. Magic xpa Studio で開発中のプロジェクトをクローズする。
- 2. Team Explorer を起動して、ソース管理エクスプローラを開く。



3. 左側の「フォルダー」ペインのプロジェクト名を選択して、右クリックメニューから、[詳細設定]→[マップの 削除]を選択する。

ソース管理エクスプローラー 😕	×						
🗐 🍕 🕲 🍵 🔁 🗙 🗎	8 🔻 🕯	🖬 🔊 🗟 - 🙋 🤅	9 æ	7	-	ワークスペース(0):	WIN10NN01
ソースの場所(L): 💼 \$/xpa3	ソースの場所(L): 💼 \$/xpa32Project01/PetshopTFS						
フォルダー	×	ローカル パス(P): <u>C:¥c</u>	ata¥pr	ojects	s32¥P	PetshopTFS	
<ul> <li>win2012r2nnhv02¥D</li> <li>maxpa32Project01</li> <li>PetshopTES</li> </ul>	efaultCollec	名前 🔺		_		保留中の変更	ユーザー
D 🗐 Sou 💍	最新バージ:	ョンの取得(L)					
<b>.</b>	編集用にチェ	ェックアウト(O)					
×	削除(D)						
	名前の変更	Ē(R)					
	移動(E)						
	ロールバック	(R)					
2	保留中の変	と更を元に戻す(U)					
<b></b>	保留中の変	を更をチェックイン(I)					
<b>*</b>	保留中の変	E更をシェルブ(S)	r				
•	履歴の表示	₹(H)		ŏ	特別	をバージョンの取得(€	i)
<u>a</u>	比較(C)				۵y	ク(K)	
*	新しいフォル	·ダー(F)			۵γ	ク解除(K)	
10	項目をフォル	レダーに追加(A)			51	ルの適用(Y)	
	分岐とマージ	ジ(B)	•		セキ	・ユリティ(S)	
	検索(F)		•	4	プロ	パティ(T)	
•	詳細設定(4	A)	•	∎⊡ t <mark>x</mark> î	77	プの削除	

4. [マップの削除]のダイアログから、ローカルフォルダに移動したいフォルダ名に変更する。

マップの削除		?	×
ワークスペース マッピング	を編集または削除します。		
現在の状態:	このサーバー フォルダーはこのローカル フォルダーにマップされています。		5
サーバー フォルダー(S):	\$/xpa32Project01/PetshopTFS		
ローカル フォルダー(L):	C:¥data¥projects32¥TFS¥PetshopTFS		
☑ サブプロジェクトもヌ	対象(R) 変更(C) マップの削除	キャンセ	2JL

mac



5. 変更ボタンをクリックすると、移動処理が行われる。

ソース管理エクスプローラー ⇒ ×					-
🛋 🍕 🛛 🎽 🗅 🗶 💧 🗮 🖆	🎙 🤊 🗟 - 🙇 છ 🗟 🕅 -	ワークスペース(O):	WIN10NN01		-
ソースの場所(L): 💼 \$/xpa32Project01/F	PetshopTFS				•
フォルダー 🗙	ローカル パス(P): <u>C:¥data¥projects32</u> ¥T	[FS¥PetshopTFS			
win2012r2nnhv02¥DefaultCollec	名前 ▲	保留中の変更	ユーザー	最新	最後のチェックイン
<ul> <li>Kpa32Project01</li> <li>PetshopTFS</li> <li>Source</li> </ul>	Source PetshopTFS.edp			はい はい	8/9/2018 4:56:1 8/9/2018 4:56:1
出力					<b>-</b> ₽×
出力元の表示(S): ソース管理 - Team Four に + data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ IF S¥Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S¥; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S4; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S4; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S4; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S4; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S4; C: ¥data * project s32 ¥ Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4; C: * data * project s32 * Pet shop IF S4;	ndation Source¥Frg_33.Xml を置き換えていま Source¥Frg_94.Xml を置き換えていま Source¥Frg_95.Xml を置き換えていま Source¥Frg_96.Xml を置き換えていま Source¥Frg_98.Xml を置き換えていま Source¥Frg_99.Xml を置き換えていま Source¥Frg_99.Xml を置き換えていま Source¥Frg」の.Xml を置き換えていま	・ 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	22 ects324PetshopTFS ects324PetshopTFS ects324PetshopTFS ects324PetshopTFS ects324PetshopTFS ects324PetshopTFS ects324PetshopTFS cts324PetshopTFS rojects324PetshopTFS	¥Source¥I ¥Source¥I ¥Source¥I ¥Source¥I ¥Source¥I ¥Source¥P TFS¥Source¥I	rrg_94.xml からす rrg_94.xml からす rrg_96.xml からす rrg_96.xml からす rrg_97.xml からす Prg_98.xml からす Prg_98.xml からす rogs.xml からす rogs.xml からす Rights.xml からす

6. Magic xpa Studio で移動したプロジェクトを開いて動作を確認の上、移動前のフォルダを削除する。

9.5 「プロジェクトの除外」を行ったプロジェクトに対して、Team Explorer からプロジェクトフォルダを削除すると、 クライアント上の物理的なプロジェクトも削除される。

「プロジェクトの除外」は、Magic xpa Studioの中のDevOpsのプロジェクトの管理情報が削除されますが、Team Explorerには、プロジェクトの管理情報は残っています。

クライアントのプロジェクトを残して、DevOpsのチームプロジェクトから削除したい場合、一旦、クライアントのプロ ジェクトを別のフォルダにコピーしてから、Team Explorer で、プロジェクトフォルダを削除およびチェックインしま す。

以上